

# 女子は沢田愛里、男子は犬童太一が優勝

## 2007NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦村上大会速報

### エリート優勝選手はともにジャパンカップ初。エイジグループで9名が優勝

9月30日(日)、新潟県村上市の瀬波温泉と笹川流れをめぐる特設コースで、2007NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦・2007村上・笹川流れ国際トライアスロン大会が開催された。

水温は24度でウエットスーツは着用禁止となった。

午前9時30分スタートの男子は、平野司(NTT東日本・NTT西日本)が最初から逃げて、後続に34秒の差を付けてバイクへと移った。平野の後は、井上一輝(東京都連合)、外山高広(東京都連合)、高濱邦晃(福岡県連合)らが続いた。

バイクでは、序盤は平野が独走したが、すぐにつかまり、6名の第1集団が形成された。しかしバイク終盤、第2集団と第3集団も追いつき、16名のトップ集団となって瀬波温泉のトランジションに戻ってきた。

ランでは、平松幸紘(愛媛県協会)とバイク第3集団から上がってきた犬童の競り合いとなった。

サイド・バイ・サイドが続くなか、残り1kmあまりの地点で犬童が満を持したスパートを成功させ、1時間53分ちょうどでジャパンカップ初優勝を飾った。2位は平松、3位は平野。

レース後犬童は、「ここ数年、村上では登り調子の好成績を残してきた。平野選手に勝って優勝できて嬉しい」と語った。



スイムの第1周回。平出(中央)と菅原(左)



女子のバイク第1集団。左から名村、高橋、大河内、蔵本、西

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



# 女子は沢田愛里、男子は犬童太一が優勝

## 2007NTTトライアスロンジャパンカップ第9戦村上大会速報

午前9時35分にスタートした女子は、スイムで蔵本葵(東京ヴェルディ)がリード。3秒後ろを西麻衣子(埼玉県連合)、その3秒後ろを名村梓(明治大学)が僅差で追う。

バイクでは、上記3名に高橋侑子(東京ヴェルディ)と大河内智未(神奈川県連合)を加えた5名が第1集団をつくった。バイク終盤には、山本奈央(愛知県立西尾高校)、平出美雨(チームゴーヤ)、沢田愛里(JR北海道)、八代純子(SUNNY FISH)も追いつき、9名がトップ集団でランへと進んだ。

ランでは、沢田が快調に飛ばし、後続に1分54秒の差をつけて2時間7分25秒のタイムで、犬童と同じくジャパンカップ初優勝となった。2位は山本、3位は西が入った。

沢田は、「トップで走っていることが最後まで分からなかった」と前を追った結果の勝利を表現した。

同時に行われた女子エイジグループ選手権は、15-19歳・金森三早希(宮城県協会)、20-24歳・保坂恵理(埼玉県連合)、25-29歳・肥田野順子(新潟県連合)、30-34歳・平松智子(愛知県協会)、35-39歳・菅沢佐智子(東京都連合)、40-44歳・小田智子(東京都連合)、45-49歳伊藤ゆかり(秋田県協会)、50-54歳・佐藤みよ子(新潟県連合)、55-59歳・宗田恵世子(東京都連合)が優勝した。

なお、エリートレースの様子は、フォトギャラリーでご覧になれます。



犬童(右)と平松幸紘のランでの競り合い

沢田 愛里  
(JR北海道)



スイムでなるべくいい位置で上がるのが課題だった。バイクでは第2集団にいたが、第1集団との差を少しでも詰めるように走った。ランでは、前に誰がいるかもしれないと思って、トップを追うつもりで走ったのがよかった。初優勝はうれしい。次は日本選手権に出場する。

犬童 太一  
(東京ヴェルディ)



バイクでは第3集団だったが、前を追って、最後は第1集団に合流した。ランに出たとき、平松選手や高濱選手との勝負になると思った。平松選手と競っていたが、最後1kmあまりのところ目一杯スパートして引き離れた。憧れだった平野選手に勝ててうれしい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

